

研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
A-136	22-031	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門 三浦克之
題名 (原題/訳)		
Alcohol Consumption and Adiposity: A Longitudinal Analysis of 45,399 UK Biobank Participants アルコール摂取と脂肪率：英国バイオバンク参加者（45,399人）における縦断的分析		
執筆者		
Inan-Eroglu E, Huang BH, Hamer M, Britton A, Stamatakis E.		
掲載誌		
Int J Environ Res Public Health. 2022 Sep 21;19(19):11945. doi: 10.3390/ijerph191911945.		
キーワード		PMID
アルコール,脂肪率、BMI、体脂肪率、ウエスト周囲径、ウエスト・ヒップ比		36231244
要 旨		
<p>目的：アルコール摂取と脂肪率の関連性については、一貫性がなく、断片的な証拠しかない。そこで本研究は、脂肪率と肥満発生率の反復測定を行い、アルコール摂取パターンと4つの異なる脂肪マーカーとの縦断的な関連性を検討した。</p> <p>方法：現在飲酒者を、週当たりのアルコール摂取量で性別に四分位に分類した場合と英国の飲酒ガイドラインに基づき分類した場合とで検討した。統計解析には、多変量調整一般化線形モデルを使用した。</p> <p>結果：女性におけるアルコール摂取量と体脂肪率（BF%：（$B = 0.42\%$、$95\%CI$：上位4分の1の女性で0.04、0.80%））の関連を除いて、男女ともアルコール摂取量と体脂肪率との間に関連は認められなかった。赤ワインおよびシャンパン/白ワインの消費は、男女ともに、ウエスト周囲径（WC）と逆相関していた（女性：$B = -0.58$ cm, $95\%CI$: -0.77-0.38cm, $B = -0.49$cm, $95\%CI$: -0.68-0.29cm、男性：$B = -0.28$cm, $95\%CI$: -0.47 -0.08 cm、$B = -0.23$ cm, $95\%CI$: -0.42-0.04cm）。蒸留酒飲用者は、非飲用者に比べてWCが高かった。アルコール摂取は、女性では肥満発症の低リスクと関連していた（第2四分位ではOR：0.60、$95\%CI$：0.45-0.80、第3四分位ではOR：0.53、$95\%CI$：0.40-0.70、第4四分位ではOR:0.61, $95\%CI$:0.46-0.80）。</p> <p>結論：アルコール摂取量と脂肪率の縦断的な関連については、限られたエビデンスしか見いだせなかった。統計的に有意な関連はほとんどなく、臨床的に重要であるとは考えにくい。</p>		